



くるほねっ子

平成30年度
黒保根小学校 学校だより
第27号
平成30年11月16日(金)
〈文責〉校長

稲作学習もいよいよ大詰め

脱穀、もみすり終了！

稲刈りから1ヶ月余りが過ぎました。稲刈りのあとは好天が続き、4・5年生が、天日干しをしていた稲の脱穀を11月9日(金)に実施しました。早朝よりPTA本部役員の皆様には準備のお手伝いをいただき、農業支援隊の皆様の御協力もいただいて、無事に終了することができました。

子どもたちが、干してある稲を次々に機械に運びます。2度目の体験となる5年生は、昨年のことを思い出し、初めての4年生に声をかけながら手際よく作業に取り組んでいました。4年生も、5年生の様子を見ながら頑張っていました。

また、子どもたちは、昔ながらの足踏みの脱穀機も体験しました。支援隊の方に教えていただきながら少しずつ作業を進めることができました。機械での脱穀との比較をしながら、昔の人たちの苦労を感じることができたようです。

黒保根小の稲作学習は、米作りの体験を通して自分たちを取り巻く環境に気づくこと、食物を栽培し、食べることの大切さに気づくこと、地域の生活や特色に関心を持ち、進んで探求しようとする態度を育てることなどを目的としています。種籾まきから田植え、水の管理など、様々な体験をし、今後は1年間の稲作学習のまとめになります。一人ひとりがお米を通してどのようなことを学んだか、何を感じたか、学習の成果が楽しみです。

なお、脱穀のあと、支援隊の大塚会長さんにお世話になり、乾燥機にかけ、もみすりもできました。14日には精米の依頼も済み、12月7日のもちつきの会を迎えます。



【機械による脱穀】



【何度も何度も機械まで運びました！】

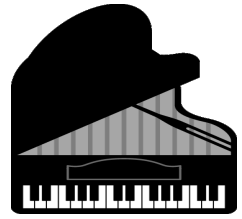


【足踏みの脱穀機も体験しました】

〔脱穀 児童の感想から〕

- 手でやる脱穀はとても時間がかかりました。吸い込まれないようにていねいにやりました。難しかったです。
- 4年生に教えることができた。もちつきでもちができるのが楽しみ。
- 来年の5年生にも、私たちが教えたことが役立つといいです。
- 稲を運ぶのが大変でした。でも、またやりたいと思いました。
- 私たちは今年が最後なので、来年は4年生に頑張ってもらいたいです。

♪ 桐生市音楽学習発表会 ♪



11月8日（木）、3～5年生が、市民文化会館シルクホールで開催された桐生市音楽学習発表会に参加しました。午前の部に市内の小学校9校が参加し、それぞれ合唱や合奏を発表しました。黒保根小は6番目に登場し、合唱『地球星歌～笑顔のために～』、合奏『ルパン三世のテーマ』を披露しました。大きな会場、たくさんの人たちの前ということで、発表前は緊張している様子を感じましたが、歌も演奏もまとまりのある素晴らしい出来栄でした。

初めて参加した3年生、一生懸命な姿が印象的でした。2度目の4年生は伸び伸びと発表できたと思います。そして5年生、歌や演奏が素晴らしかったのはもちろんですが、客席での鑑賞態度なども含め、3・4年生の手本となっていました。今まで練習に取り組んできたこと、そして他校の演奏を聴いて感じたことなどを生かして、これからの音楽の時間も頑張ってくれると期待しています。

桐生市教育委員会 指導主事の先生のコメント

合唱では、のびのびとした歌い出しから、みんなが心をひとつにしてがんばって前進しようとしている姿にチームワークを感じました。後半の、力強く地球の壮大さを感じるサビの部分では、全員の歌声のパワーが感じられました。重なり合う歌声の響きが美しかったです。

合奏は、しっかりとしたリズムに乗って有名なフレーズがかっこよく演奏されていました。体でリズムをきざみたくなる部分、なめらかに歌うような部分とで演奏が対比的に工夫されていました。木琴とリズムのソロもすてきでした。リズムのパートの人が重厚に支え、メロディーやそこに重なる伴奏の楽器それぞれが自分の役割を果たし、みんなの心がぴったりと合った素晴らしい演奏になりました。30人とは思えないスケールの大きな演奏でした。



【合唱：地球星歌～笑顔のために～】



【合奏：「ルパン三世」のテーマ】

校長室から⑧ ～成長～

音楽学習発表会、脱穀とともに6年生のいない行事だった。そんな中、5年生がリーダーとして頑張っていた。自分のことはもちろんだが、下級生の様子を見てあげたり、自主的に行動する様子が見られ、嬉しかった。

昨年度もこの時期、今の6年生に成長する様子を感じていたことを思い出した。あと4ヶ月余りで最上級生。今年も黒保根小の伝統を引き継ぐ準備がしっかりと進められていると感じる。今後もしっかり応援したい。（柴塚）